

国際交流協会ニュース

— Ichihara International Association —



2025年3月25日 発行 市原市国際交流協会
〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1 市原市役所 観光・国際交流課内
TEL 0436-23-9866 FAX 0436-21-0332
e-mail: iia@city.ichihara.lg.jp
ホームページアドレス <https://iia-ichihara.org/>



こくさいこうりゅう
国際交流ひろば インドネシアブース



こくさいこうりゅう
ふれあい交流バスツアー

ぜん い つう や く 善意通訳セミナー

ざいじゅうがいこくじん し みん たいしょう ぼうさいきょうしつ こうりゅう 在住外国人市民を対象とした防災教室とふれあい交流バスツアー

こくさいこうりゅう き み はな 国際交流ひろば 来て！見て！話そう！

りょこう にほんさいはっけん バス旅行で日本再発見！

こ こうりゅうかい 子どものひろば —クリスマス交流会—

しょく とお ぶん か し りょうり 食を通して文化を知る「ウクライナのクリスマス料理」

善意通訳セミナー

しまいとしぶかい
姉妹都市部会

2024・9・7&14



9/7(土)、9/14(土)の二日間にわたって姉妹都市部会が主催する『善意通訳セミナー』が行われました。隔年で姉妹都市のモビール市から生徒を受け入れる際、ボランティア通訳のお世話になっています。いつもご協力くださる方々や、通訳に興味のある方々に向けてこのようなセミナーが開催されています。

今年の講師には、英語通訳案内士宮本やす子氏をお迎えしました。昨年のモビール青少年を受け入れた際、都内観光に添乗してくださったご縁で、今回のセミナーをお願いする事となりました。セミ

ナーの内容を紹介致します。

【座学】

市民会館の会議室棟にて3時間の講義が行われました。

主な内容

- ・善意通訳について
- ・訪日外国人事情
- ・よくある日本についての質問
- ・訪日外国人とのコミュニケーション
- ・英語自己紹介ロールプレイ
- ・英語で模擬訪日外国人とのコミュニケーションロールプレイ

訪日客の国別の特徴、発音の工夫、人気の食べ物など、接する上で大事な知識が中心で、英語力の乏しい私でも、とても楽しく受講する事ができました。

【実地研修 成田空港】

成田空港では、講師が訪日客に英語でインタビューし、受講生はその様子をガイドングレシーバーを通して聴きました。テレビ番組『Youは何しに日本へ』

のようで面白い体験ができました。

【実施研修 成田山新勝寺】

各御堂に関する内容や、訪日客からよく聞かれる質問について説明いただいたり、大本堂での御護摩祈禱の見学など、充実した内容でした。

過去のセミナーでは、座学も実地研修も英語の文章を中心に講義頂く事が多かったように感じますが、今回は通訳として対応する際に必要な知識をたくさん学べる場となりました。

次回のセミナーは再来年開催の予定です。ご興味がありましたら、是非ご参加ください。(記：渡邊まゆみ)



在住外国人市民を対象とした防災教室とふれあい交流バスツアー

交流部会 2024・9・29



曇り空を眺めながら久しぶりの市バスを利用して防災体験教室と千葉市動物公園に行ってきました。参加者は25名、年

代も赤ちゃんから70代まで、出身の国も中国、インドネシア、ブラジル、日本とさまざまです。始めに千葉市動物公園を散策。レッサーパンダの風太君は高齢のため見られませんが、自然に近い状態のライオンやシマウマ、動きの無いハシビロコウやゴリラなど皆思い思いに見学、昼食を園内のレストランでとり、お昼過ぎ松戸の西部防災センターへ到着。

地震の揺れの体験、火事緊急時の通報、消火訓練、煙の中を歩くなど、貴重な体験をしました。日本は特に近年災害が多く、大雨や地震が頻繁にあり、これを教訓に日頃から備えを改めて考える機会となりました。帰りのバスの中では謎々として、小学生ややわらか頭の人は景品をゲットしましたが、考え込む人もいて、和やかなひと時を過ごしました。今回は初めて小さい子どもさんの参加がたくさんあり、市バスのチャイルドシート着用が5つのチャイルドシートもお父さんたちの手際がよくスムーズに行きました。

国際交流ひろば来て！見て！話そう

交流部会

2024・11・10



11月10日（日）に戸田コミュニティセンター1F多目的室で開催された今年の「国際交流ひろば」は約200名が参加、国別ではベトナム、中国、ブラジル、台湾、タイ、インドネシア、ペルー、フィリピン、日本の9カ国。IIAのイベントで外国人参加率の高い「ひろば」に合わせて同日にセンター2Fでは東京出入国管理局主催・市原市協力の①在留資格・

②法律・③労働・④年金の4テーマに関する外国人のための無料相談会が開催され、終日熱心な相談が実施され盛況だった。
10時から開始した「ひろば」では市原警察から詐欺被害にあわないようにとの外国人のための防犯対策の懇切丁寧な説明が行われ、同時にコミカルなクイズも披露され好評を博した。コロナで中断していた毎年参加者が楽しみにしている各国料理の試食会は昨年に続き今年も実施され、参加国と同じ9カ国の料理の試食が12時から行われ、参加者は何回も列に並び直し満足した様子であった。料理提供各国の参加者は毎年同じ料理にならないよう工夫を凝らし、朝から入念な準備をして臨んだことが窺えた。

午後の部では僧侶の池田さんのギター演奏が雰囲気を盛り上げた。
会場の周りには参加各国のブースが設けられ、各国の展示・物品販売が実施されたが、午後はその展示各国のプレゼンテーションが順番に行われ盛り上がった。ついでインドネシアのデウインタさん指導のポチヨポチヨダンス、最後はビンゴゲームで締めくくった。



バス旅行で日本再発見！

日本語教室部会

2024・12・8



2024年度の日本語教室部会のバス旅行が12月8日（日）に挙行された。

「わあ、横浜、行きたい！」
学校の社会科見学位しか旅行をしたことがない子供達にとって、知名度の高い横浜へのバス旅行は魅力的なイベントであった。それゆえ、白金子子供日本語教室では、想定外に多くの参加者が即集まった。日本文化が体験できる日本庭園「三溪園」では、社会

科で歴史の勉強をしている6年生が多かったのも、歴史的建造物を見て「徳川家に関係があるんだってね」など、日本文化に興味を示す発言が見られた。
横浜中華街では、宗教上食べ物に制約がある家族がいたため、事前に昼食場所を調べておいたのだが、雑踏の中、案の定はぐれてしまった。それでもやっと昼食場所に到着したのだが、係員の名札と発音から、日本人ではない、看板の漢字が違うなどの気付きがあった。
現代の日本に昔が残っていたり、中国が存在していたり、日本を再発見する機会を得た貴重なバス旅行となった。

子どものひろば ークリスマス交流会ー

みんな違ってみんな同じ

こうりゅう ぶ かい
交流部会

2024・12・8



会場を国分寺にあるウエルシアコミュニケーションセンターで開催。子どもを対象とした初めてのイベント。きっかけは、1年前イスラム教徒のインドネシア出身のメンバーから提案があり「違う宗教だけ大丈夫なの？」と疑問が沸いたが異文化理解の一環として計画された。

日本人の子ども、外国にルーツを持つ子どもも集まって楽しく交流できたらいと、クリスマス交流会として計画された。一部は僧侶でボランティアの小林さんから仏教についてお話を聞き、イスラム教についてはメンバーのデウインタからお話ししてもらった。お話しの後、手作りの英語カードでゲームをした。二部は南米のハーブ「アルパ」の奏者Shokoさんのミニコンサートでクリスマスソングやスタジオジブリのアニメのテーマソングの演奏、やさしい音色に「うっとり」。終わりに配られた卵の形をしたマラカスのような音のする楽器を

ハーブに合わせて合奏した。三部は館山から来て頂いた「劇団あおいSORA」の人形劇やクイズ。帰りにはお菓子のプレゼントに参加した大人も子どもも笑顔で帰った。平和な日本で宗教に対しても寛容だから出来ることだと思う。当日は市の広報に紙面の都合で掲載できずPR不足と風邪などで参加者、関係者含めて30名と少なかったが、ボランティアの協力で無事開催できたことにスタッフ一同感謝。本イベントは特定営利法人 市民協議会との共催で行われた。

食を通して文化を知る「ウクライナのクリスマス料理」

こうりゅう ぶ かい
交流部会

2024・12・22

12月22日（日）三和コミュニティセンターで実施。講師はウクライナから難民として来日し市原に住んでいる清水イリーナさん。ウクライナは、国旗の色にもあるように青は青い空、黄色は小麦畑の色でヨーロッパの豊かな穀倉地帯です。メニューは、ボルシチ、サラダ、アップルケーキ。ボルシチもサラダも瓶詰のピーツを使用し、サラダは茹でたジャガイモ、人参、キュウリのピクルスにレモン汁と塩胡椒、オリーブオイルでとてもさっぱりしています。ボルシチは鶏肉を使う代わりにジャガイモ、ニンジン、ピーツキャベツを入れ煮込む。アップルケーキは小麦粉とバターを使った土台にリングを飾

り、焼き上げたら粉砂糖をかけて出来上がり。アップルケーキはグループによってはオープンの調節が難しく、お手伝いとして参加したイリーナさんの夫の清水さん（日系ブラジル人）がオープンとにらめっこで調整して下さいました。別室にテーブルセッティングをしてウクライナの刺しゅうをしたセンタークロスを敷きクリスマスの雰囲気。パンを温めて料理を並べ皆で試食、おいしく楽しいひと時でした。食後はウクライナについて、美しい自然や建物、名所などイリーナさんが作った資料を、パワーポイントを見ながらお話しして頂きました。

ウクライナは手仕事で盛んでそれぞれの州によって刺繍の柄や色が違うそうです。最近テレビでニュースを見ると破壊された街の映像に改めて、歴史のある美しいところだったと考えさせられました。

